



第17回きりしまフォトコンテスト【霧島市観光協会賞】晩秋の参道で

霧島市 市議会

だより



令和4年11月

特集 Special edition

あそびの王国・霧島で
生涯通して健康な生活へ P02-06

委員会レポート P07-08

第2回臨時会 P09

議案の審査結果 P10

陳情審査報告
賛否の分かれた議案 P11

一般質問 P12-19

議員と語り P19

活躍きりしまびと
編集後記 P20

活躍！ きりしまびと 第15回



ワーカーズコープ
ほのぼの 所長
西 律子さん(53歳)
(霧島市国分)

地域とともに

ワーカーズコープ「ほのぼの」では、訪問介護、児童クラブ、放課後デイサービス、子ども食堂、障がい者就労支援とさまざまな事業を展開している。国分上小川の就労継続支援B型事業所を取材した当日は、自然栽培で育てたじゃがいもの出荷準備中だった。

ワーカーズコープ(労働者協同組合)は、組合員が出資し、それぞれの意見を反映して、自ら働くことを基本としている。2004年、前所長である西さんのお姉さんが、仲間と共に訪問介護事業所を作った。きっかけは、祖母の在宅介護をする母の苦勞を身近で見ていたからだそう。託児事業を始めると「子どもが学童保育の待機児童になって働けない」との声を聞き、学童も始めた。学童に来る子どもの中に、発達障害の子もいると、スタッフが資格を取り、放課後デイサービスもスタートさせた。

西さんもお姉さんの背中を追って、「ほのぼの」の一員に。虐待から逃げてきた若者を保護したことも



あった。子ども食堂を開いた時、「4年間手作りのものを食べていない」と、黙々と食事をとる若者もいた。西さんは、「誰でも集えて、なんでも言える『みんなのおうち』を作りたい。」と希望を語る。

長年の法制化活動が実を結び、今年10月労働者協同組合法が施行された。「ワーカーズコープで多様な働き方が可能となり、地域の困りごとに対応できる。」と西さんは期待する。地域力が衰退している所こそ、ワーカーズコープが課題解決のカギとなるか、おおいに注目したい。

次回▶12月[定例会予定]

日	月	火	水	木	金	土
11/27	28	29 本会議 (初日)	30	12/1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
本会議(一般質問)						
11	12	13 常任委員会	14 予算常任 委員会	15 予算常任委員会 (予備日)	16	17
18	19	20	21	22	23 本会議 (最終日)	24
25	26	27	28	29	30	31

日程は変更になることがあります。詳しくは議事事務局(☎64-0922)にお問い合わせください。

今月の表紙



令和4年2月9日(水)の官報告示により、本市所在の「霧島神宮本殿・幣殿・拝殿」が国宝に指定されました。鹿児島県内における建造物では初めての国宝になります。(霧島田口)

編集後記

皆さんが好きな季節はいつですか？春ですか、夏ですか？
私は、秋が一番好きです。秋の気持ちのいい澄んだ空気が綺麗な夕焼けに心が癒されます。少し肌寒くなってくると温泉が恋しくなりますし、沢山の美味しい食を楽しめるのも秋の魅力だと感じます。

今号の特集では、皆さんに、屋外で体を動かし、健康的な生活を送って欲しいという思いから、霧島市内のさまざまなスポットや体験アクティビティなどを紹介しています。新型コロナウイルス感染症拡大防止のための制限により、ストレスの溜まる生活が続いています。ぜひ、秋の過ごしやすさの気候を活かして、外に出て体を動かすことや、旬の食を楽しんでみてはいかがでしょうか。

さて、令和4年第3回定例会は、9月30日で32日間の会期を終えました。中でも、7月20日未明の局地的大雨により被災した箇所の復旧予算の早期対応がされたことは、市民の生命と財産を最優先に取り組んだ結果であったと感じています。

広報広聴常任委員会では、7月下旬の「議員と語り」で、団体に加えて個人参加も可能になりました。一人でも多くの市民の皆さんに必要な情報をお届けすることや、お話しする機会が得られるように、今後も創意工夫しながら活動していきたいと思えます。

(今吉 直樹)



霧島市議会の詳しい情報は、「霧島市議会のホームページ」をご覧ください。

霧島市議会